

## 今治タオルを使った快適パット 「ヒエトリパット」の試験販売を開始

さくらコットン

さくらコットン

(今治市蒼社町、菊川あずさ代表)は、地場産業の今治タオルを素材に使用し、女性の意見を取り入れて開発している「ヒエトリパット」の試験販売を開始した。

代表自身が長年に亘り生理痛や冷え症に悩んでいた

ことが開発のきっかけ。布製のもの

を使用すると冷えや痛みが和らいだことから、「生理時だけでなく日頃から冷えを取ることで、より快適な暮らしができるのではないかと考えた」という。

昨年11月から開発に着手し、これまで同代表が主宰する女性グループ「ママ☆コレ」のメンバーのほか、東京や名古屋の女性グループ等からサンプリング調査を行うなど、幅広い層の意見を取り入れながら試作品作りを進めてきた。

冷え対策のほかに、軽い尿漏れ、おむつパット等としての活用を想定し、「女性だけでなく子供



トになることから、特に柄や模様  
のデザインには拘り、そこにはデ  
ザイン文具の会社に勤めていた自  
身の経験を活かした。

現在はスナップでパットを固定  
する試作品を仕上げ、今回更なる  
実用性の向上を図るため、今治市  
内の岩盤浴施設(ルルド)と病院  
(日浅産婦人科医院)で試験販売  
をスタート。大人用は1500円  
前後からを予定。来月には専用サ  
イトを開発し、「機能性のあるタ  
オル素材の選定など引き続き改良  
を重ね、今秋頃の商品化を目指し  
たい」と話している。

から年配者  
まで毎日使  
って頂ける  
商品」(同)  
をコンセプト  
に設定。  
女性がメイ  
ンターゲット